

ワインディングを走ると何も着けてないよう

さて、今回の私の旅の相棒になつてくれたのは、仕事仲間のアイドルMちゃん。愛車を駆つての参加で、ツーリングは久々なんだとか。うん、じゃあもつと遠くまで走ってみよう！ そんな相談をしたいから、Mちゃんにもセナのインターコムを付けてもらった。

彼女が選んだのは「10U」。なにやら彼女はコダワリのヘルメットだとかで、端末が外側に出っ張っちゃうのはイヤなんだって。うん、それもとってもよく分かる。かっこいいヘルメットはデザインをキープしたいもんね。

そんな人にオススメしたいのが、まさにこの「10U」。ヘルメットの内側に全部のインターコムを仕込めるから、外側からはまるでなんにも着けていないように見えるスグレモノだ。Mちゃんみたくオープンフェイスタイプのヘルメットなら、通話のためのマイクが口元にチョロっと出ている、たったそれだけ。フルフェイスだったらこのマイクさえも外からは見えないうちというスッキリデザインだ。

じゃ、どうやって端末を操作するの？ と思うなかれ。ハンドル

に取付けるリモコンが付いてくる。このハンドルバーリモコンも、どんなバイクにも合うようなシンプルでデザインが特徴で、操作用にジョイスティックとボタンを備えている。もちろんグローブのままでも使い勝手は上々で、手の小さなMちゃんでも操作がカンタンだから、装着してすぐにスイスイと使いこなしていた。

今回の旅では、せっかく緑のキレイな千葉に来たんだから、とワインディングにも誘ったんだけど、右へ左へと切り返すようなコーナ



でも、クラッチ操作を邪魔しないこのハンドルバーリモコンのコンパクト設計には驚いたんだとか。むしろ、手元に操作系が固まっているほうが、ハンドルから手を離さなくてもいいから安心だったみたい。意外な利点アリって感じ？

ただしこの「10U」、特殊なデザインだけにどのヘルメットにもフィットイングできるワケじゃないから気を付けて！ 適応機種はセナのホームページを確認を。

ヘルメットの姿はそのままに 10U



そうです！
シンプルでしょ？

外側からじゃ
見えないんだね！

10U

価格：4万2984円 同時通話：4人
通信距離：最大1.6km
※ハンドルバーリモコンを含む



SHOEI J-Cruise用



Arai
フルフェイスヘルメット用



SHOEI
NEOTEC 用



SHOEI
GT-Air 用



マイク部のボタンで音量などの操作が可能。ボタンも少し大きめに設計されていて、コチャもグローブしたまま操作しやすい



ハンドルバーリモコン。10Uには同梱。別売りで販売されていて、他のモデル（20S、10S、10C）がペアリング可能



SENA公式サイトに登録して最新情報を入手しよう！

ファームウェアのアップデートで、バージョンアップできるから、マメにチェックしておきたいのが公式のウェブサイト。新製品のチェックも大切だけど、お持ちのインターコム情報の収集もお忘れなく！ SE NA正規店から購入された方は、製品本体に記載されている番号で登録でき、最新情報を収集できる